

長崎在宅Dr.ネット第10回市民公開講座

# 医療的ケア児が おでかけするために ～わたしたちができること～

令和5年8月19日（土）

14：30～16：20

（開場：13：30）

会場：長崎市立図書館 多目的ホール 参加費：無料

（長崎市興善町1-1 TEL 095-829-4946）

イントロ  
ダクション

こんなに大変  
医療的ケア児の  
おでかけ

岡田雅彦  
長崎県医療的ケア児  
支援センター長

講演1

医療的ケア児の  
外出時の困りごと  
～トイレ環境を中心に～

森藤香奈子  
長崎大学大学院  
医歯薬学総合研究科  
保健学専攻 教授

講演2

みんなで  
バーベキュー  
～家族でのおでかけと  
家族交流～

松島由美  
訪問看護ステーション鳴見  
所長

鼎談

「わたしたちができること～医療的ケア児のおでかけのために～」

岡田雅彦 森藤香奈子 松島由美

主催：認定NPO法人 長崎在宅Dr.ネット TEL 095-811-5120 FAX 095-811-5121

後援：長崎県 長崎県医師会 長崎県看護協会 長崎県訪問看護ステーション連絡協議会 長崎県介護支援専門員協会  
長崎市 長崎市医師会 長崎市訪問看護ステーション連絡協議会 長崎市介護支援専門連絡協議会

## 長崎在宅Dr.ネット第10回市民公開講座 医療的ケア児がおでかけするために ～わたしたちができること～

### 「わたしたちもおでかけしたい～医療的ケア児の外出事情～」

医療的ケア児とは、たんの吸引や経管栄養などのケアが日常的に必要な児のことをいいます。ふだんは在宅で過ごすことが多く、自宅で人工呼吸器を使用している児もいます。医療的ケア児は年々増えており、長崎県においても離島を含め約200名の児がそれぞれの地域で生活しています。

医療的ケア児の多くは歩行が難しく、バギーとよばれる車いすに乗って外出します。呼吸器や酸素ボンベなどの医療機器も携行せねばならず、家族にとって身体的負担は大きいです。

さらに外出先ではトイレも悩ましい問題です。一般的な身障者用トイレ内には横になれる場所がなく、乳児用おむつ交換ベッドには体重制限があるからです。

今回、医療的ケア児とその家族の支援にたずさわる3人が集まり、医療的ケア児の外出する意義やその困難性について語ります。その上でトイレ利用について新たな提案や、家族そろっておでかけする企画についてご紹介したいと思います。

 **参加申込書** FAXにてお申し込みください 095-811-5121 

**定員:100名 申込締切 令和5年8月18日(金)**

代表者氏名		勤務先	
職種		連絡先TEL	
参加者1		参加者2	
参加者3		参加者4	
質問などありましたらご記入ください			